

演劇ワークショップ開催 & 短編演劇「星と少年と飛行士」上演

協会ではNPO あびの実と共催で、この夏に小学生むけの演劇ワークショップを行いました。
講師は八丈島出身の女優・赤松由美さん。劇作家・演出家の唐十郎率いる劇団「唐組」で看板女優として長年活躍し、現在は個人事務所コニエレコを拠点に活動されています。

ワークショップは全5回。前半の3回（7月30日、8月6日、8月20日）は富士見地区公会堂で、ストレッチや発声練習などの基礎訓練や、コミュニケーションのための「シアターゲーム」、台本や詩の朗読、「耳をすまそう」「キャッチボールをしよう」「舞台美術を作ろう、舞台美術に自分も入ろう」など、さまざまなワークを行いました。参加者は大人も含め、のべ12人と少数でしたが、参加した子どもたちは、生き生きとした表情で、リラックスして表現を楽しんでいました。



後半の2回（8月26日、27日）は、短編演劇「星と少年と飛行士」の上演に取り組みました。家での自主稽古、公会堂での全体稽古を経て、ワークショップ参加者3人が、赤松さんやあびの実のサポートメンバーとともに、おじゃれホールの大きな舞台に立ちました。照明、音響、舞台美術、人形製作、衣装、記録、受付等々、20人近い協力者に支えられ、当日は、67人もの観客にご来



場いただき、本格的な「演劇上演体験」を実施することができました。子どもたちは緊張の中、見事に役を演じ切りました。

ご協力くださったみなさま、ご覧いただいたみなさま、ありがとうございました。

2023年10月～12月のイベント情報

- 文化フェスティバル・舞台部門 10月15日（日） おじゃれホール
入場料：一般500円、高校生以下は無料
- 町表彰授与式 10月29日（日） 町役場
- 江戸東京博物館「はじめての三曲」 11月11日（土） おじゃれホール
※第8回芸能文化祭は、3月10日（日）に予定していましたが、諸般の事情により、今年度は開催せず、来年度6月頃に開催します。

協会の主催・後援イベントや、加盟団体の活動を中心に、掲載。詳細は、協会のホームページ、「FAX・メール通信」をご覧ください。

八丈島文化協会 会報 第45号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2023年10月6日 発行

第34回八丈島文化フェスティバル舞台部門開催！

第34回八丈島文化フェスティバル舞台部門は、今年も過ごしやすい季節の10月15日（日）おじゃれホールにて開催します。

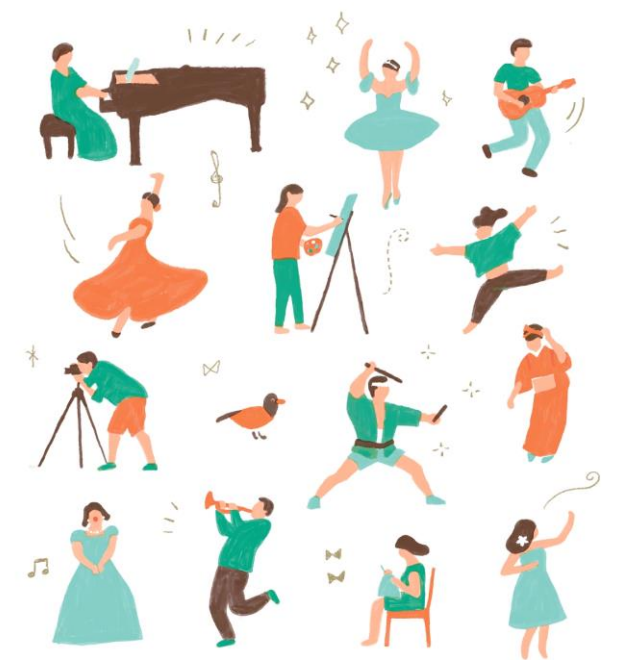
2023年10月15日（日）おじゃれホール 10時30分開演

毎年出演している団体から久しぶりに出演する団体まで、16団体が出演します。

【出演団体】

三根子どもアンサンブル
フラメンコサークル
八丈太鼓 月曜会
Heatup
カレオ オラカ イアパナ～
カパー フラ オカウルレファ
音楽教室 Goldbreath
大賀郷中学校音楽部
八丈島民謡保存会（よされ会）
三原エンジョイアンサンブル
檜之扇会
八丈島 Soka 栄光バンド
千田美鈴（ソプラノ独唱）
八丈混声合唱団
檜立太鼓会
日本民謡 朝元会
M-isle Ballet
（出演順）

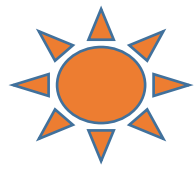
第34回 八丈島文化フェスティバル



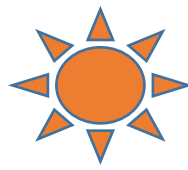
【舞台部門】 10.15 八丈町多目的ホール「おじゃれ」
2023 [SUN] START 午前の部 10:30 午後の部 13:30
賛助金(入場料) 1人500円 高校生以下無料

今年から実行委員会も新体制となり、4月から何度も会議を行い運営しています。実行委員は全員ボランティアでやっていますが、34回続いている文フェスをこれからも続けていきたいという思いで頑張っています。実行委員をやってみたい、運営を手伝いたいという方がおられましたらぜひ文化協会までお問い合わせください。

※作品展部門は2024年1月19日～21日に開催します。



八丈島自然っ子クラブ 2023 八丈小島上陸体験事業



自然っ子クラブの八丈小島上陸体験事業を、7月29日（土）に実施しました。長かったコロナ禍が明け、今年は80名に迫る大勢の申し込みをいただいたものの、直前に季節外れのインフルエンザが流行し、当日参加できたのは総勢61名となりました。

当日は朝8時に八重根漁港に集合。チャーターした2隻の渡船に分乗して北部の鳥打地区に上陸しました。手早くベースキャンプを設営し、小島探検に出発。無人島となった八丈小島の当時の様子や、ヤギ駆除後に回復が進む自然環境のお話を聞きながら、6月に巣立って今は空っぽのクロアシアホウドリ繁殖地の横を通り抜け、コウダテの磯に到着。カメノテや磯ガニなど磯もの採りを体験しました。お昼には、この磯ものと、スタッフがモリ突きで仕留めた魚を使ったカメノテ汁、アカバ汁、フグ汁が用意され、美味しい郷土の味を堪能しました。



午後からは海がベタ凧になり、海遊びプログラムでは、勇気を出して高い岩場から飛び込み、シーカヤック体験で沖へ漕ぎ出し、魚影の濃い入江でシュノーケリングするなど、たっぴりと無人島の青く美しい海を満喫することができました。

この事業には、八丈島文化協会から助成金をいただき、今年も多くの子ども達と小島に渡って貴重な体験をすることができました。ご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。

あびの実夏休み子ども映画会 大盛況！



7月29日（日） 八丈島多目的ホール「おじゃれ」にて夏休み子ども映画会「長ぐつをはいたネコと9つの命」を行いました。

「みんな、映画見たかったんだ！！」…観客数273名、回収されたアンケート126通は45%の提出率、この数値を前に主催者側が発した第一声でした。アンケートでは、圧倒的多数の方から『とても良かった』という好評価をいただきました。

- こわい部分もあったけどスリル満点でとてもおもしろかった。
(中学生・女性)
- 大人も楽しめる映画でした。ありがとうございました。(60代・女性)
- 友情があって、いいと思いました。またできる会があればしてほしいな

と思いました。おもしろいところもあったので、みんな楽しめたと思います。(小学生・女性)

映画館のない八丈島、1人で配信映像を見るだけではなく、良い映画、楽しい映画は誰かと一緒に見て感動や感想を共有したいですね。今後の企画も検討中です。賛助会員はじめ、財政を支えて下さっている方々に感謝。会員も募集しています。

「土の力と海の技」

～第84回八丈島民大学講座～

第84回八丈島民大学講座「土の力と海の技」は、東京都立大学との共催で、8月25・26日に行われました。会場の八丈町商工会研修室とオンラインでの受講者113人を含め、2日間で延べ210人が受講しました。

第1日目は、都市環境科学研究科の川東正幸教授による「かけがえのない土壌がもつ生命を育む力」。受講者からは「テンポがはやく、ついていけない部分もありましたが、土に対する見方が少し変わりそう、土の色とか断面とか。気候と土の分布の話は、今後の気候変動の影響を感じました。チッソやリン酸の重要性と影響の大きさを知りました。土壌が食糧や環境問題と大きく関わるんですね。」「土壌について勉強になりました。特に粘土鉱物の「不良品」はとてもおもしろく拝聴しました。作物を育てる土の中には、こうした「世界」が広がっているのだと知ると土のあつかい方も変わってきます。」「土がなくなるスピードや地球上の穀物生産の分布について興味深かった。」「資料に沿ってわかるような説明をしてくださり、興味をもって話を聞くことができてよかったです。地球の食料はもう限度に近いという話はショックでした。」「土壌→環境→食料生産の関連性がよく理解することができた。深刻な状況にならないための研究を進めていただきたいと思った。生産者へのアドバイス、警告も必要に感じた。」という意見がありました。

受講者 100人（会場 46人・オンライン 54人）

第2日目は、山田昌久名誉教授による「縄文時代に八丈島へ渡った人々の知恵と技術」。

「縄文人が丸木舟を作った方法を再現して理解を深めているのはすごいと思いました。」「丸木舟をつくること、縄文文化のつながり、それぞれ生活の文化を聞いて面白かったです。」「わかりやすい資料・研究結果で、縄文人・縄文文化のことがとてもよくわかりました。また、島しょ部が貴重な資源の産地であり、「縄文文化・南方文化の交差点」に八丈島がなっていたことも、とてもおもしろいと思いました。」「講座前にNHKで、台湾からの渡海や縄文時代の水運などの放映があり、関心が高まり、その延長でしたので、面白く学びました。実際に丸木船を制作することなどから、縄文人の知識、知恵の豊かさが具体的に伝わりました。八丈島は、日本各地、南方との交流の拠点であったことを知りました。縄文時代、住居が重複することと集団のあり方の考察は、刺激的でした。ありがとうございました。」という意見が寄せられました。受講者110人（会場51人・オンライン59人）



そのほか、「コロナでしばらく来られなかったのですが、島にしながら最先端の研究・学術発表に触れられる機会があることが、とても貴重だと思います。」「いつも興味関心のテーマをわかりやすく深める講座を企画してくださり、ありがとうございます。」「自分1人では学びにくい分野について講座を設けて頂き、ありがとうございます。とても勉強になりました。」といった感想も寄せられました。

八丈島民大学講座のホームページで、講座の資料がご覧いただけます。

